

2022 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 看護学科 | | 科 目 区 分 | 統合分野 | 授業の方法 | 講義演習 |
|--|---------|-------------|--|--|---|---------------|
| 科 目 名 | 在宅援助論 I | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (1) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 2年次 | | 学期及び曜時限 | 後期 | 教室名 | 各教室 |
| 担 当 教 員 | 及川登美子 | 実務経験とその関連資格 | 総合病院で外来・病棟、手術室、健診センター、消化器内視鏡技師、介護老人保健施設に看護師長(介護支援専門員資格あり)として勤務 | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| 在宅療養者とその家族を対象とした在宅看護を展開するためのアセスメント方法、看護計画、在宅ケアの連携やケアマネジメント、社会資源を活用するための方法について学ぶ。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 出席状況、出席態度、課題提出状況、課題の到達度20%、筆記試験80%で総合的に評価する。 | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| 系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 医学書院、適宜資料を配布する。 | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 指定した教科書や資料を事前に読んでおくこと、授業終了時に示す課題を実施しておくこと、授業内容に係わる小テストを実施するので、復習しておくこと。 | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 講義には既習の学習内容を踏まえた内容がたくさんあります。それらの知識を活用しながら学習してください。日頃からメディア・新聞・雑誌などの情報に関心を持ちましょう。 | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 | |
| 第1回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 在宅看護の提供の場とそれぞれの特徴を説明できる。 | 教科書 ワークシート AV機器 小テスト | 教科書を読んでくる。 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 1. 入退院・入退所など、療養の移行時において看護師が行う支援 2. 在宅看護における看護師の基本的活動とその視点 | | | |
| 第2回 | | 授業を通じての到達目標 | 在宅療養者への多職種連携について説明できる。 | 教科書 ワークシート 事例 AV機器 ホワイトボード 小テスト | 小テストの復習 課題レポート:「課題を解決するためにどのような機関と連携し協働すればよいか」 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 多職種の役割と連携 | | | |
| 第3回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 地域で暮らすサポートの実際について説明できる。(民生委員の活動) | 民生委員からの講演 AV機器 | 課題レポート:「講義を聴いて学んだこと」 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 民生委員の活動の実際 | | | |
| 第4回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 地域で暮らすサポートの実際について説明できる。(訪問看護ステーション) | 訪問看護ステーション訪問看護師の講演 AV機器 | 課題レポート:「講義を聴いて学んだこと」 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 出雲市の医療の現状と連携について | | | |
| 第5回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 地域で暮らすサポートの実際について説明できる。(認知症サポーター) | 認知症キャラバン講習終了者の講演 AV機器 | 事前課題レポート:①「認知症についての学習」②「講義を聴いて学んだこと」 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 認知症サポーター養成講座 | | | |

| 授業の方法 | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|-------------|--|---|---|
| 第6回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 在宅療養者とその家族を対象とした在宅看護を展開するためのアセスメント方法、看護計画、在宅ケアの連携やケアマネジメント、社会資源を活用するための方法について述べるができる。 | 教科書 ワークシート AV機器 小テスト 3・4・5回の講義で提出されたレポートの発表 | 小テストの復習 |
| | 各コマにおける授業予定 | 多様な在宅療養者のニーズのアセスメント、在宅看護過程の特徴、在宅療養者の安全の確保、人権の保障、他職種連携、社会資源の活用 | | |
| 第7回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 情報の整理とアセスメントの展開ができる。 | 教科書 ワークシート AV機器 ホワイトボード 小テスト | 課題レポート:①「病院看護と訪問看護の違い」②「在宅看護過程展開のポイント」③「生活モデルと医療モデルの違い」 |
| | 各コマにおける授業予定 | 在宅療養移行時期にある事例を4側面から捉えてGWし、発表する。 | | |
| 第8回 | 講義実習形式 | 授業を通じての到達目標 COPDの事例をもとに看護過程の展開をすることができる。 | 教科書 ワークシート AV機器 ホワイトボード 記録用紙 小テスト | 小テストの復習、COPDの自己学習、課題の自己学習 |
| | 各コマにおける授業予定 | 情報分析用紙、ワークシートで課題を明確にしグループで発表する。COPDの病態の学習をして必要な看護援助を考える。 | | |
| 第9回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 COPDの事例をもとに看護過程の展開をすることができる。 | 教科書 ワークシート AV機器 ホワイトボード 記録用紙 小テスト | 課題レポート提出:「情報分析用紙、課題の明確化、関連図、長期目標・短期目標の記載」 |
| | 各コマにおける授業予定 | 関連図の作成、長期目標・短期目標を記載する。 | | |
| 第10回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 事例をもとに看護過程の展開をすることができる。 | 教科書 ワークシート 書画カメラ 記録用紙 小テスト | 小テストの復習、課題レポート(記録用紙)を見直して再提出 |
| | 各コマにおける授業予定 | COPDの事例の看護過程の展開の発表 | | |
| 第11回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 在宅看護における安全性の確保について説明できる。 | 教科書 ワークシート AV機器 小テスト | 小テストの復習 |
| | 各コマにおける授業予定 | 在宅におけるリスクの特徴、薬物や転倒事故防止 | | |
| 第12回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 在宅看護における安全性の確保について説明できる。 | 教科書 ワークシート AV機器 小テスト | 小テストの復習 |
| | 各コマにおける授業予定 | 窒息、火災、医療事故の防止、感染防止のための標準予防策、医療廃棄物の処理について | | |
| 第13回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 在宅療養者に必要な災害対策、在宅看護の役割および他機関・他職種との連携のあり方について述べるができる。 | 教科書 ワークシート AV機器 小テスト | 小テストの復習 |
| | 各コマにおける授業予定 | 災害サイクルに応じた対策の実際と在宅看護の役割 | | |
| 第14回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 在宅看護に関係する個人情報、成年後見、高齢者虐待などに関する法について説明することができる。 | 教科書、ワークシート、事例 AV機器、ホワイトボード | 課題レポート:「Cさん親子について、虐待のアセスメント」「Cさんのケアプラン立案」 |
| | 各コマにおける授業予定 | 個人の尊厳、自己決定権、個人情報の保護、個人情報等の情報の開示 | | |
| 第15回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 1. 保障されるべき在宅看護の対象者の権利を述べるができる。 2. 高齢者虐待を発見した際の対応について説明できる。 | ワークシート 事例 PW GW 小テスト | まとめの復習 |
| | 各コマにおける授業予定 | 成年後見、虐待(高齢者虐待への対応)、在宅看護における法律問題まとめ | | |